

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 49 回通常総会

【議案書】

第 1 号議案：2023 年度決算承認の件

第 2 号議案：2024-2025 年度役員承認の件

【報告書】

- 1) 2023 年度事業報告
- 2) 2024 年度事業計画
- 3) 2024 年度収支予算

2024 年 5 月 30 日（木） 於 連合会館



目 次

【議案書】

第 1 号議案：2023 年度決算承認の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7

第 2 号議案：2024-2025 年度役員承認の件・・・・・・・・・・・・ P9

【報告書】

2023 年度役員、顧問・参与一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11

2023 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12

2024 年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P30

2024 年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P40

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、順不同、敬称略にて表記しています。

注 2：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA 海外協力隊を【協力隊】、帰国隊員を【OV】とした他、全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部省略または俗称にて表記しています。

第 1 号議案：2023 年度決算承認の件
監事監査報告書

決 算 報 告 書 (案)

(第 11 期)

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日 (決算) まで

法人名： 一般社団法人協力隊を育てる会

事業名： 事業全体

(単位： 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	219	288	△69
基本財産受取利息	219	288	△69
受取入金会金	57,000	3,000	54,000
受取入金会金	57,000	3,000	54,000
受取会費	4,960,500	4,324,900	635,600
正会員受取会費	4,021,000	4,097,400	△76,400
研修会受取会費	939,500	227,500	712,000
事業収益	123,122,329	123,497,207	△374,878
広告料収入	3,016,200	3,815,900	△799,700
手数料収入	3,539,710	3,728,540	△188,830
カレンダー等販売収入	4,365,750	3,724,540	641,210
帰国隊員等支援受託収入	50,362,506	50,731,263	△368,757
クロス編集業務受託収入	56,873,510	57,052,037	△178,527
GLOBAL SPROUT	265,900	200,040	65,860
その他受託収入	4,698,753	4,244,887	453,866
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	805,899	277,995	527,904
受取寄付金	805,899	277,995	527,904
雑収益	17,276	531,979	△514,703
受取利息	96	79	17
雑収益	17,180	531,900	△514,720
經常収益計	131,963,223	131,635,369	327,854
經常費用			
事業費	111,937,468	112,468,316	△530,848
給料手当	40,961,973	38,373,750	2,588,223
退職共済掛金	790,500	1,104,000	△313,500
福利厚生費	6,486,635	5,680,789	805,846
旅費交通費	2,684,868	2,777,593	△92,725
通信搬費	5,559,467	5,695,174	△135,707
消耗品費		16,610	△16,610
修繕費	1,080,547	1,144,692	△64,145
印刷製本費	11,083,954	11,188,823	△104,869
仕入高	15,012	45,130	△30,118
光熱水料	246,674	256,264	△9,590
賃借料	2,625,581	2,621,475	4,106
保険料	44,070	48,000	△3,930
諸謝金	2,967,000	2,794,250	172,750
租税公課	21,550	1,400	20,150
支払負担金	12,320	0	12,320
支払助成金	6,224,540	6,665,144	△440,604
委託費	28,709,870	29,851,065	△1,141,195
雑費	2,422,907	4,204,157	△1,781,250
管 理 費	19,330,800	20,758,687	△1,427,887
給料手当	5,110,410	6,705,094	△1,594,684
退職共済掛金	274,500	276,000	△1,500
福利厚生費	767,319	992,614	△225,295
会議費	92,840	120,300	△27,460
旅費交通費	72,718	175,754	△103,036
通信搬費	291,409	357,484	△66,075
減価償却費	229,680	229,680	0

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消 耗 品 費	154,875	398,149	△243,274
修繕費	186,210	141,695	44,515
印刷製本費	85,638	88,327	△2,689
光熱水料費	246,674	256,264	△9,590
賃借料	2,932,297	2,958,045	△25,748
保険料	17,476	17,476	0
諸謝金	0	6,000	△6,000
租税公課	5,501,000	5,077,300	423,700
支払負担金	2,490,230	2,004,806	485,424
雑費	877,524	953,699	△76,175
経常費用計	131,268,268	133,227,003	△1,958,735
評価損益等調整前当期経常増減額	694,955	△1,591,634	2,286,589
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	694,955	△1,591,634	2,286,589
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	694,955	△1,591,634	2,286,589
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	624,955	△1,661,634	2,286,589
一般正味財産期首残高	39,477,951	41,139,585	△1,661,634
一般正味財産期末残高	40,102,906	39,477,951	624,955
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	40,102,906	39,477,951	624,955

貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日現在（決算）

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金預金	12,815,843	5,141,578	7,674,265
現金	25,316	31,356	△6,040
普通預金	12,790,527	5,110,222	7,680,305
未収会費	50,000	100,000	△50,000
未収金	13,607,670	16,505,428	△2,897,758
前払金	3,920,260	1,572,084	2,348,176
貯蔵品	19,053	29,435	△10,382
商立品	919,430	962,617	△43,187
立替金	409,758	384,503	25,255
預け金	2,500	2,500	0
流動資産合計	31,744,514	24,698,145	7,046,369
固 定 資 産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
その他の固定資産			
建物附属設備	1,576,208	1,783,888	△207,680
什器備品	23,834	45,834	△22,000
保証金	1,770,558	1,770,558	0
長期前払費用	143,156	322,932	△179,776
奨学貸付金	60,000	800,000	△740,000
その他の固定資産合計	3,573,756	4,723,212	△1,149,456
固定資産合計	23,573,756	24,723,212	△1,149,456
資産合計	55,318,270	49,421,357	5,896,913
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未払金	5,462,230	4,509,816	952,414
前受金	3,596,254	492,400	3,103,854
預り金	3,107,380	2,395,290	712,090
未払消費税等	2,979,500	2,475,900	503,600
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	15,215,364	9,943,406	5,271,958
負債合計	15,215,364	9,943,406	5,271,958
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	40,102,906	39,477,951	624,955
正味財産合計	40,102,906	39,477,951	624,955
負債及び正味財産合計	55,318,270	49,421,357	5,896,913

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年 4月11日 最終改正 令和 2年 5月15日
内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
合 計	20,000,000	0	0	20,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	2,595,159	1,018,951	1,576,208
什器備品	110,000	86,166	23,834
合 計	2,705,159	1,105,117	1,600,042

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000

2024年4月25日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 山本 保博 殿

監事 福龍 健一 
監事 中村 義人 

私たち監事は、第11期事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第 2 号議案 2024 - 2025 年度役員承認の件

理事候補者（計 15 名）

監事候補者（計 2 名）

※上記役員の一覧は、次頁参照のこと。

※上記役員の任期は、2024 年 5 月 30 日から 2026 年 5 月開催予定の第 51 回
通常総会日までとする。

一般社団法人協力隊を育てる会役員（案）

2024-2025年度

役 員 （定数 理事：15名以内 監事：2名以内）

理 事		明石 要一	千葉大学名誉教授
理 事	新任	市川 直美	公益社団法人日本青年会議所事務局長
理 事		上田 みどり	広島県海外協力隊を育てる会会長
理 事	新任	北野 眞一	日本労働組合総連合会副事務局長
理 事		小井土 雄一	厚生労働省DMAT事務局長
理 事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事
理 事		白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
理 事		田口 努	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
理 事	新任	武下 悌治	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
理 事		棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
理 事		土井 章	国際航業株式会社経営管理本部
理 事	新任	星野 智子	一般社団法人環境パートナーシップ会議代表理事
理 事	新任	松尾 直泰	一般財団法人日本青年館総務部部長
理 事	新任	結城 和香子	読売新聞東京本社編集委員
理 事		山根木 晴久	公益財団法人日本生産性本部上席参与
監 事		中村 義人	公認会計士
監 事		福瀧 健一	千葉県JICA協力隊を育てる会監事

2023 年度事業報告
2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

一般社団法人協力隊を育てる会役員			
2022-2023年度			
役 員			
理 事	会 長	山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
理 事	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館理事
理 事	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
理 事	常任理事	松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長
理 事	常任理事	上田 みどり	広島県海外協力隊を育てる会会長
理 事		明石 要一	千葉大学名誉教授
理 事		小井土 雄一	厚生労働省DMAT事務局長
理 事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事
理 事		白鳥 くるみ	アフリカ理解プロジェクト代表
理 事		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
理 事		田口 努	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
理 事		棚田 一論	日本青年団協議会事務局長
理 事		土井 章	国際航業株式会社経営管理本部
理 事		山根木 晴久	公益財団法人日本生産性本部上席参与
監 事		中村 義人	公認会計士
監 事		福瀧 健一	千葉県JICA協力隊を育てる会監事
顧問・参与			
顧 問		足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
顧 問		黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
参 与		伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参 与		井上 俊吾	徳島県協力隊を育てる会会長
参 与		大塚 正明	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
参 与		大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
参 与		小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
参 与		小原 嘉文	佐賀県協力隊を育てる会会長
参 与		坂本 瑞夫	愛知県青年海外協力隊を支援する会会長
参 与		高橋 成雄	NPO法人地球緑化センター顧問
参 与		谷川 与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
参 与		吹浦 忠正	NPO法人ユーラシア21研究所理事長
参 与		森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長
参 与		竹原 玲児	日本経済団体連合会国際協力本部長

2023 年度事業報告

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

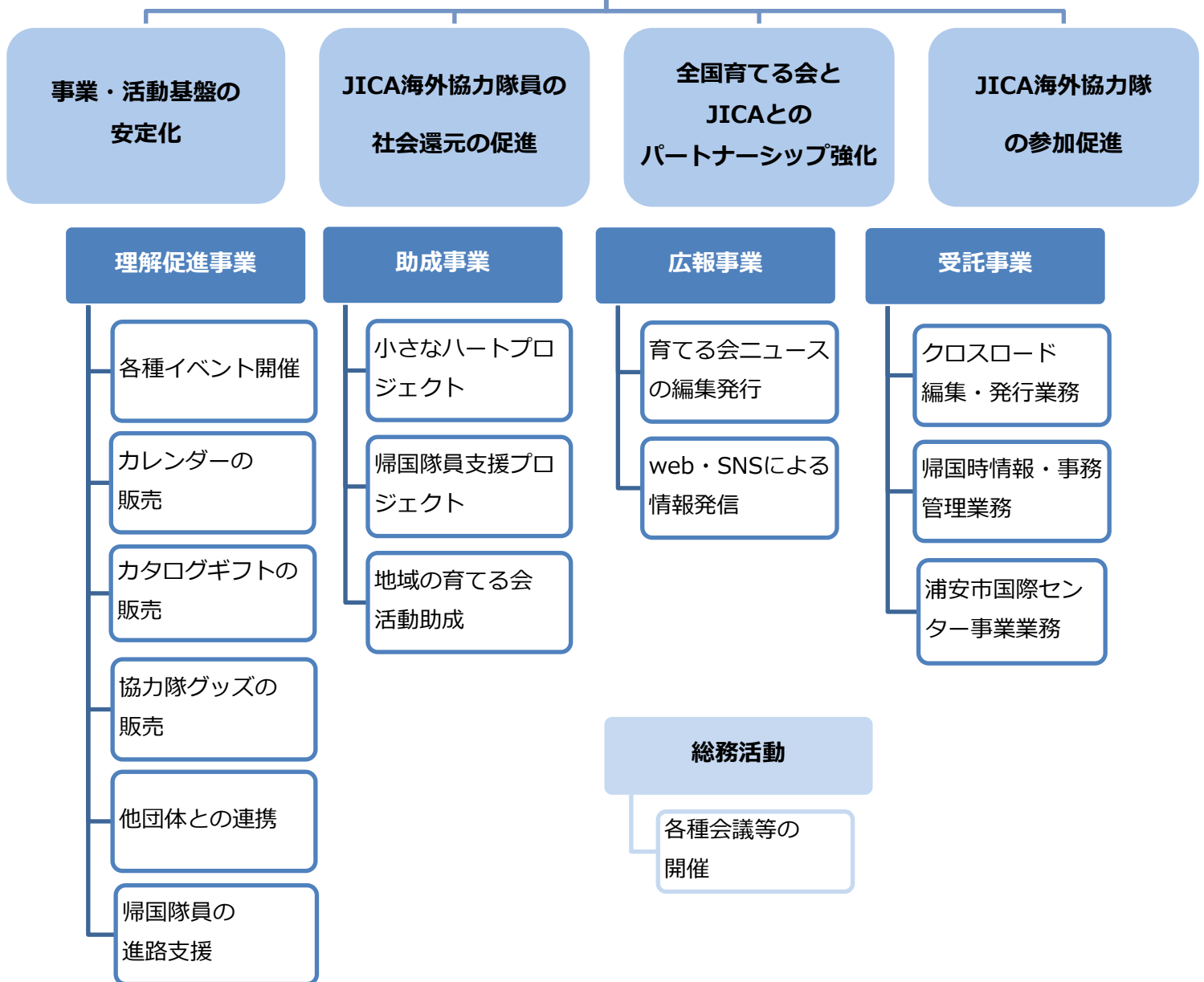
【重点活動】

1. 事業・活動基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊員の社会還元の促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊の参加促進（コロナ禍からの回復）

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動



2023 年度事業報告

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

【重点事業】

1. 事業・活動基盤の安定化

1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

実 施 : 受託業務の確実な受注

概 要 : 「2024-2026 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務」の受注

公示日 : 2024 年 1 月 30 日

技術提案書・入札書提出 : 2024 年 3 月 1 日(3 月 4 日締切)

開札日 : 2024 年 3 月 14 日

結 果 : 当会にて落札(技術点 : 84.50/100 点)

入札額 : 198,924,226 円(税抜) 、 218,816,648 円(税込)

2) 新規事業の企画と受託業務の応札

実 施 : 通年

概 要 : 育てる会の強みを生かした事業の企画とプロポーザル参加

案件名 : 「JICA 海外協力隊を活用したスタートアップ起業支援業務」

概 要 : (株) 国際協力データサービス(代表)、(株) シー・ディー・シー・インターナショナル、Innovation Dojo Japan 合同会社と共同体を結成して応札

結 果 : 失注(8 月 29 日)

案件名 : 「書籍「グローバル・イノベーター 社会課題解決(又はSDGsの実践者たち)(仮称)」制作業務」

概 要 : 帰国後、社会課題解決に向けて活動している OBOG を取り上げた書籍を作成する JICA からの業務委託契約を締結。(4,421,200 円)

3) 全国育てる会活動予算の確保

実 施 : 通年

概 要 : 活動予算の確保検討及び交渉

2. JICA 海外協力隊員の社会還元促進

1) 全国ネットワークによる協力隊活動ならびに社会還元活動への支援

実 施 : 通年

概要：イベント開催等を通じた活動広報

2) イベント等の開催

(1) 日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会 リレー寄稿スピンオフ特別企画

小國和子教授（日本福祉大学）×橘事務局長

主催：日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会

共催：一般社団法人協力隊を育てる会

日時：2023 年 4 月 27 日（木）19：30～21：00（オンライン）

概要：インドネシアの同じチーム派遣（「南スラウェシ州バル 県地域総合開発実施支援プロジェクト」）の一員としてとして参加したお二人の立場から協力隊経験の意義や社会還元の在り方について考える。

参加者：約 60 名

(2) 第 48 回通常総会シンポジウムの開催

演題：「協力隊経験を社会に還元する」

日時：2023 年 5 月 26 日（金）16：00～18：00

場所：日本青年館（カンファレンスルーム：イエロー）

概要：帰国隊員の社会還元事例を共有し、各地域での社会還元活動を促進する。

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

後援：独立行政法人国際協力機構

パネラー：工藤知子氏（株式会社バオバブ代表取締役）

浅野拳史氏（株式会社マキノハラボ代表取締役）

新居みどり氏（NPO 法人 CINGA コーディネーター）

進行：橘秀治氏（JICA 青年海外協力隊事務局長）

出席数：会場約 70 名、オンライン視聴約 70 名

アーカイブ：限定公開（<https://youtu.be/IT-sDeKvo-E>）



3) カタログギフト「Global Sprout」の広報と販売

ブランド：「Global Sprout（グローバル・スプラウト）」

概要：帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等を掲載したカタログギフトの販売促進を通じて、地域社会の活性化を進めている隊員の活動を支援する。

4) 日本も元気にする青年海外協力隊 OBOG 会と連携した事業企画・運営

(1) OBOG のマッピング化に向けた取り組み

結果：「2024-2026 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務」の中に新設・受注

(2)OBOG を訪ねる旅実施に向けた取り組み

概 要：各 OBOG の強みと地域の特色を生かしたオンライン（現スピンオフ会）とオフライン（リアル）実施に向けた企画立案・お試しツアーを検討。

当会婚活事業や SDG s、企業団体用視察等、テーマ性とターゲットを設定。

実 施：① 6 月 3 日（土）4 日（日）青森・群馬・静岡 OBOG によるローカル・イノベーターズ・サミット（群馬）参加

（当会進路相談カウンセラー矢島亮一氏・河内毅氏等企画）

アーカイブ：限定公開（<https://youtu.be/SknVkiT52Hk>）

② 10 月 21 日（土）埼玉県横瀬町にて協力隊 OG とコラボし、町の魅力をナビゲートしながらの婚活イベントを実施

参加者：20 名

③ 2024 年 3 月 8 日（金）～10 日（日）訪ねる旅 in 五島列島

（OB 会代表 兼 当会進路相談カウンセラー河内毅氏 企画実施）



(3)協力隊 24 時間ライブ実施に向けた取り組み

概 要：数日間に分けた計 24 時間オンラインライブを検討。

協力隊 OBOG のビフォー（協力隊活動）アフター（OBOG ショップ等）、各県育てる会等が登壇し、各 OBOG や育てる会の取り組みを発信することで、OBOG の社会還元促進や日本社会における協力隊事業の理解促進につなげる。(1)や(2)のネットワーク化や資金調達等にもつなげる。

結 果：JICA 受託業務として①社会還元表彰運営事務局とあわせて②社会還元ライブを提案、JICA 内で予算計上まで検討され①は採択、②は決裁の途中で実績なし且つ応援者の不足（1 万人以上が望ましい）の理由で却下

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 全国育てる会の総会等の積極的な参加と情報共有

(1) 協力隊を支援するやまがた地球家族の会（令和 5 年）総会出席

日時：2023 年 5 月 27 日（土） 14：00～

場所：出羽庄内国際村（山形県鶴岡市）

出席：松岡常任理事

(2) 京都府 JICA ボランティア応援団 第 8 回（2023 年度）定期総会出席

日時：2023 年 6 月 6 日（火） 14：00～

場所：からすま京都ホテル（京都市中京区）

出席：水野副会長

(3) 福島県青年海外協力隊を支援する会 令和 5 年度通常総会出席

日時：2023 年 6 月 8 日（木） 15：00～

場所：郡山ビューホテル（郡山市中町）

出席：大石事務局長

- (4) 岐阜県青年海外協力隊を支援する会 令和 5 年度通常総会出席
 日時：2023 年 6 月 10 日（土） 10：00～
 場所：ハートフルスクエア G（岐阜駅構内）
 出席：大石事務局長
- (5) JICA ボランティアを支援するいわての会 定期総会出席
 日時：2023 年 6 月 24 日（土） 14：00～
 場所：盛岡地域交流センター
 出席：大石事務局長（オンライン）
- (6) 愛媛県青年海外協力隊を育てる会 通常総会（第 34 回）出席
 日時：2023 年 7 月 4 日（火） 17：00～
 場所：ホテルマイステイズ松山
 出席：山本副会長
- (7) 茨城県青年海外協力隊を育てる会 令和 5 年度通常総会出席
 日時：2023 年 7 月 9 日（日） 10：30～
 場所：JICA 筑波国際センター
 出席：大石事務局長
- (8) 青年海外協力隊とちぎ応援団 設立 20 周年記念式典出席
 日時：2023 年 10 月 21 日（土） 14：00～
 場所：栃木県青年会館「コンセーレ」
 出席：山本副会長
- (9) 北海道協力隊を育てる会 北海道教育長との意見交換
 日時：2023 年 10 月 24 日（火）
 出席：倉本博史（北海道教育委員会教育長）北海道金子会長、山ノ内事務局長、
 松岡常任理事
- (10) 埼玉国際青年を育てる会 壮行会出席
 日時：2023 年 10 月 11 日（水）2023 年度 2 次隊 出席：藤澤職員
 日時：2024 年 1 月 18 日（木）2023 年度 3 次隊 出席：藤村職員

2) 応募勸奨や社会還元促進、人財バンク機能の推進協力

実 施：通年

3) 協力隊活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

実 施：通年

4) 全国育てる会代表者／事務局長会議の開催

日時：2023 年 9 月 8 日（金）13：30～16：30

場所：JICA 市ヶ谷ビル（国際会議場）

出席：各県組織（会長／事務局長他）29 組織（34 名）

役員、顧問・参与 11 名

JICA 4 名（橘事務局長、内田次長、内山次長、沢田次長）

第1部 全国育てる会による意見交換

- ・事例発表：北海道、栃木県、佐賀県
- ・各県の活動状況報告

第2部 青年海外協力隊事務局を交えた意見交換会

- ・「協力隊事業の現況と方向性について」橘 JOCV 事務局長
- ・社会還元活動について
- ・協力隊事業設立 60 周年に向けて

第3部 懇親会（J's Cafe）

4. JICA 海外協力隊参加の促進

1) カレンダーの制作・販売

概 要：帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

テーマ：レジリエンス - 明日へのエネルギー

仕 様：A4 横／フルカラー／14 枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数：8,500 部

結 果：6,809 部（内訳：定型 716 部、名入れ 1,995 部、各県 4,098 部）

制 作：5 月～8 月

販 売：9 月 30 日～

普 及：オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う。

2) 『クロスロード』の積極的な活用

概 要：応募勧奨号（2 月 1 日発行号）を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高める。
全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する。

実 施：通年

【理解促進事業】

1) 活動報告会の開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、社会情勢に合わせながら活動報告会等を開催する。

(1) 新春の集い

実 施 : 2024 年 1 月 23 日

場 所 : 日本青年館（イエロー）

概 要 : レジリエンス～明日へのエネルギー・その先の未来へ～

山崎 やよい氏（シリア OG）「針と糸でシリアの女性の明日を紡ぐ」

深川 千幹氏（トンガ OG）「動き始めたトンガとの時間」

参加者 63 名

2) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業への理解を

(1) 「持続する情熱」（ダイジェスト版）の販売

実 施 : 通年

対 象 : 隊員参加希望者、隊員家族、帰国隊員の採用に関心をもつ企業・団体・自治体

(2) 協力隊 T シャツ、JOCV バッジの販売

実 施 : 通年

概 要 : 隊員参加希望者、派遣予定者、帰国隊員、隊員家族等

3) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

(1) 協力隊まつり 2023

主 催 : 協力隊まつり実行委員会

実 施 : 4 月 22 日（土）

場 所 : JICA 市ヶ谷

概 要 : 育てる会活動と各県活動の理解促進のため、活動紹介の展示、グッズ販売等

(2) 公益財団法人日本スポーツ協会

実 施 : 5 月 22 日（月）

場 所 : JICA 竹橋

出席者 : 公益財団法人日本スポーツ協会：岩田事務局長、酒井特命課長、森田総務課長

JICA（青年海外協力隊事務局）：橘事務局長、内山次長、森田職員、勝又職員

育てる会：山本副会長、大石事務局長

概 要 : スポーツ分野の協力隊員の参加促進に向けて意見交換

(3) 日本経済団体連合会（経団連）

実 施 : 5 月 29 日（月）

場 所 : 経団連会館

出席者 : 経団連：竹原国際協力本部長（育てる会参与）

JICA（青年海外協力隊事務局）：内山次長

育てる会：大石事務局長

概要：協力隊参加促進への協力依頼等

(4) 一般財団法人日本宇宙フォーラム (JSF)

実施：6月5日(月)

場所：JSF 事務局

出席者：JSF：青木宇宙利用事業部総括担当役

JICA（青年海外協力隊事務局）：橘事務局長

育てる会：大石事務局長

概要：協力隊発足 60 周年に向けた小惑星の命名権の譲渡について

実施：11月2日(木)

場所：JSF 事務局

出席者：JSF：青木宇宙利用事業部総括担当役

JICA（青年海外協力隊事務局）：内田次長、近藤課長

育てる会：大石事務局長

概要：小惑星の命名までのスケジュールについて

(5) 労働組合

UA ゼンセン 6月16日(金)

場所：UA ゼンセン事務局

出席者：UA ゼンセン：教育・社会運動局小林孝徳部長

育てる会：大石事務局長

概要：協力隊応募者増加への理解と協力

全日産・一般業種労働組合連合会（日産労連） 6月19日(月)

場所：日産労連事務局

出席者：日産労連：リック局 渡邊晴翔

育てる会：大石事務局長

概要：協力隊応募者増加への理解と協力（自動車整備隊員）

全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連） 6月21日(水)

場所：自動車総連事務局

出席者：自動車総連：組織局局长 金持史宣

育てる会：大石事務局長

概要：協力隊応募者増加への理解と協力（自動車整備隊員）

(6) 日本青年会議所（日本 JC） 12月19日(火)

概要：日本 JC より災害用備蓄食料品を提供いただき、子ども食堂の活動を行う協力隊 OV に支援

支援先：みなふく子ども食堂（福島県福島市）

穴戸なつ美 OG（平成 2 年度 1 次隊／婦人子供服／ルワンダ）

4) グローバルフェスタ 2023

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会
実 施 : 9月30日(土) 10月1日(日)
場 所 : 東京国際フォーラム

5) アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会
実 施 : 2024年3月23日(土)
場 所 : 足利市民プラザ

6) 広報協力

NHK ワールドジャパンへの取材協力

実 施 : 6月2日(金)
場 所 : 育てる会事務局
出席者 : NHK WORLD-JAPAN : 米野勝
株式会社ナプロ代表取締役 : 中山章
育てる会 : 大石事務局長
概 要 : 主に海外で起業した協力隊経験者の番組制作に係る情報提供

7) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年
概 要 : 就職や転職、進学等へのアドバイス

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する。

支援金額 : 1件につき上限 300,000 円
支援件数 : 1 件
募集期間 : 通年
審 査 : 審査員により随時実施

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	実施状況
(0)	豊瀬 佳恵 (2022 年度採択)	2021-1 マダガスカル コミュニティ開発	道路陥没をなくして、生活改善	8 月 21 日 完了報告書提出済
1	永易 亜季子	2021-7 ウガンダ 青少年活動	未来を守る食育プロジェクト in ウガンダ	10 月 19 日 完了報告書提出済
2	池山 久栄	2022-3 ケニア 環境教育	気候変動に対応した牧畜と作物栽培 共存（デモ農場建設）プロジェクト	実施中

支援金贈呈式：全国電力関連産業労働組合総連合：1 月 10 日（水）協力隊を育てる会会議室
600,000 円

国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン東京-山の手：

1 月 16 日（火）ヒルトン東京 100,000 円

支援金提供：足利市ボランティア協会：3 月 11 日（月）銀行振込 154,999 円

規程改定：12 月 8 日（金）改正施行 2023 年度第 2 回理事会にて承認

主な改正点：申請金額上限 300,000 円→3,000 米ドル

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：2,254,000 円

応募数：11 件（協力活動 5 件／調査研究活動 6 件）

支援数：5 件

募集期間：7 月 1 日（土）～ 8 月 31 日（木）

審査：10 月 17 日（火）に選考委員会を実施

<協力活動>

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	活動地域
1	加藤 菜穂	2017-3 ラオス コミュニティ開発	ラオス人民民主共和国における若者への縫製技術訓練を通じた収入向上プロジェクト	ラオス

2	近藤 咲	2016-1 グアテマラ 小学校教育	グアテマラの小学生の基礎学力向上と、身に付けた学力を地域社会に活かす人材育成を目的とする現地学習塾を継続運営するプロジェクト	グアテマラ
---	------	--------------------------	--	-------

<調査・研究>

	受給者名	隊次/派遣国/職種	プロジェクト名称	活動地域
3	原 志帆	2018-2 タンザニア 看護師	ケニアで最もマラリアが流行しているビクトリア湖周辺地域におけるココナッツオイルをはじめとした保湿剤の使用状況調査と、保湿剤とマラリア媒介蚊との関係	日本 ケニア
4	平尾 莉夏	2017-1 ベナン コミュニティ開発	ベナン共和国ジュグー市におけるセルフヘルプによるプラスチック資源循環の実践に関する現地調査	ベナン
5	吉野 龍史	2014-1 タンザニア 理学療法士	ケニア国クワレ州における日常生活動作（ADL：Activity of Daily Living）に障害を抱えた高齢者ケアに掛かるニーズ調査	ケニア

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：状況に応じて決定（上限 80,000 円）

給付時期：2024 年 4 月 2～3 週目

対象事業：以下の 4 事業

- ①会員拡大
- ②協力隊に参加し易く、また協力隊経験を地域に活かす社会環境の整備
- ③広報・理解促進
- ④全国組織連携

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約 5,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構成：1 面～最新トピックス、有識者による時評

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3 面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介

4 面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メールリングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) 育てる会カレンダー用写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965 年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく。

協力隊設立 60 周年（2025 年）を控え、収集した資料の整理を進める。

【受託事業】

1) 2021-2024 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容 : JICA 海外協力隊実践ガイド（年 10 号）、OBOG 向け（年 1 号）、応募者向けガイド（年 1 号）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間 : 2021 年 7 月 1 日（木）～2024 年 9 月 30 日（月）

専従職員 : 3 名

2) 2021-2023 年度 JICA 海外協力隊帰国情報事務管理・現職参加促進支援業務

帰国後の進路支援を円滑に実施できるよう、各種データの情報管理や進路支援制度の運用を効率的に推進するとともに、カウンセリングを通じて帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、現職参加や帰国後採用を推進することでボランティアに対する社会的評価の向上に繋げるべく、業務を遂行する。

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

担当課 : 青年海外協力隊事務局人材育成課

業務内容 : 各種証明書発行やデータ整備、奨学制度等の事務手続き、進路相談カウンセリング業務、無料職業紹介業務、広報記事作成、理解促進セミナーの実施等

契約期間 : 2021 年 10 月 1 日 (金) ~ 2024 年 4 月 30 日 (火)

専従職員 : 4 名 (ほか業務委託 5 名)

3) 浦安市国際センター事業

上記センターの指定管理業務を共同企業体と実施する。

委託元 : 浦安市

共同企業 : 公益社団法人青年海外協力協会

業務内容 : 国際センターの運営補佐 (多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等)

契約期間 : 2022 年 4 月より 4 年間

専従職員 : 1 名

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第 48 回通常総会

開催日 : 5 月 26 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 30

場 所 : 日本青年館 (ブルー)

【プログラム】

第 1 部 通常総会 (14 : 00 ~ 15 : 30)

第 2 部 シンポジウム「協力隊経験を社会に還元する」 (16 : 00 ~ 18 : 00)

第 3 部 交流会 (18 : 30 ~ 20 : 00)

(2) 理事会

・ 2023 年度第 1 回理事会

日時 : 2023 年 5 月 9 日 15 : 00 ~ 16 : 30

場所 : 連合会館 (402 号室)

・ 2023 年度第 2 回理事会

日時：2023 年 12 月 8 日 15：00～16：30

場所：連合会館（205 号室）

・ 2023 年度第 3 回理事会

日時：2024 年 3 月 15 日 15：00～17:00

場所：連合会館（205 号室）

(3) 常任理事会

日時：2023 年 7 月 13 日 15：00～17:00

場所：育てる会事務局

日時：2023 年 11 月 21 日 15：00～17:00

場所：育てる会事務局

日時：2024 年 3 月 13 日 15：00～17:00

場所：育てる会事務局

(4) 顧問・参与会議

原則として年 1～2 回程度開催

2) 各種交流会の開催・参加

(1) 「新春の集い」の主催

日 時：2024 年 1 月 23 日

場 所：日本青年館（イエロー）

概 要：レジリエンス～明日へのエネルギー・その先の未来へ～

山崎 やよい氏（シリア OG）「針と糸でシリアの女性の明日を紡ぐ」

深川 千幹氏（トンガ OG）「動き始めたトンガとの時間」

参加者 63 名

終了後、バンケットにて賀詞交歓会（参加者 57 名）

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会の主催

開 催：随時

場 所：都内

(3) 青遺海の会相磯会長ご子息（長男・剛様）訪問

開 催：2023 年 10 月 13 日

場 所：都内（大塚）

備 考：大石事務局長より育てる会ニュースへのご寄稿を依頼

(4) 2023 年度 JICA 慰霊式の出席

開 催：2023 年 11 月 13 日

場 所：JICA 市ヶ谷

出 席：松岡常任理事、大石事務局長

3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 随時

場 所 : オンライン／対面

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 留守家族への入会勧奨

時 期 : 隊員赴任直後

方 法 : 郵送

5) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 随時

場 所 : オンデマンド収録

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

6) プライバシーマーク付与適格性審査（更新）

書類審査 : 2023 年 7 月 11 日

現地審査 : 2023 年 8 月 25 日

付与適格決定 : 2023 年 10 月 3 日～2025 年 10 月 2 日

登録番号 : 第 10861475 (09) 号

7) 表彰等

令和 5 年春の叙勲

- ・瑞宝小綬章 原口泉（鹿児島県青年海外協力隊を支援する会理事）

令和 5 年度外務大臣表彰（8 月 22 日）

- ・駒ヶ根協力隊を育てる会（団体）
- ・檜畑直尚（わかやま JICA ボランティア応援団会長）
- ・アーナンダ・クマール（元三重県協力隊を育てる会会長）

8) 訃報

- ・竹腰勇ノ介氏 6 月 4 日／74 歳

（石川県青年海外協力隊を支援する会事務局長／株式会社北都組代表）

- ・宮崎幸雄氏 9 月 10 日/90 歳（一般社団法人協力隊を育てる会元副会長）
- ・渡部正剛氏 10 月 5 日/86 歳（一般社団法人協力隊を育てる会元事務局長）

9) 人事

（1）社団事務局職員

①異動

藤澤礼香（4月1日付 帰国隊員支援業務統括責任者）

馬場はるか（4月1日付 帰国隊員支援業務／JICA 竹橋勤務）

②採用

藤村文音（4月1日付 事務局勤務／嘱託職員）

村田浩子（6月29日付 事務局勤務／臨時職員

⇒9月1日付 帰国隊員支援業務／嘱託職員）

内水京子（10月23日付 事務局勤務／臨時職員）

原田真梨子（10月24日付 事務局勤務／臨時職員）

③休職

伊藤聡一郎（6月1日付）

④退職

永淵三恵（10月15日付 帰国隊員支援業務／嘱託職員）

村田浩子（3月31日付 帰国隊員支援業務／嘱託職員）

小路克雄（3月31日付 帰国隊員支援業務／嘱託職員）

原田真梨子（3月31日付 事務局勤務／臨時職員）

内水京子（3月31日付 事務局勤務／臨時職員）

（2）全国育てる会

①会長の交代

- ・秋田県青年海外協力隊を支援する会

前）吉村昇（東北公益文化大学学事顧問）

新）竹下博英（秋田県議会議員）

- ・長野県青年海外協力隊を育てる会

前）山浦愛幸（一般社団法人長野県経営者協会会長）

新）碓井稔（一般社団法人長野県経営者協会会長）

- ・（一社）プラザ・大阪

前）織田峰彦（元読売新聞大阪本社）

新）内山博之（元日本生命職員 星光ビル管理(株)専務）

- ・鳥取県協力隊を育てる会

前）八村輝夫（青少年育成鳥取県民会議会長）

新）野津一成（美保テクノス株式会社 代表取締役会長）

- ・JICA ボランティアひょうご応援団

前）水口典久（前公益財団法人兵庫県国際交流協会理事長）

新）早金孝（公益財団法人兵庫県国際交流協会理事長）

- ・千葉県 JICA 協力隊を育てる会

前）八林明生（元 JICA 職員）

新）高尾精一（有限会社ステラ技師長）

②事務局長の交代

- ・わかやま JICA ボランティア応援団
前) 出口博之(公益財団法人和歌山県国際交流協会)
新) 北山徹(公益財団法人和歌山県国際交流協会)
- ・佐賀県協力隊を育てる会
前) 山路健造(認定 NPO 法人地球市民の会事務局長)
新) 岩永清邦(認定 NPO 法人地球市民の会事務局長)
- ・駒ヶ根協力隊を育てる会
前) 市村義美(駒ヶ根市総務部企画振興課長)
新) 久保田浩人(駒ヶ根市総務部企画振興課長)
- ・NPO 法人山梨県青年海外協力隊を育てる会
新) 植木富士美
- ・石川県青年海外協力隊を育てる会
前) 竹腰雄ノ介(石川県青年海外協力隊 OB 会)
新) 高橋健司(石川県国際交流協会常務理事兼事務局長)
- ・にほんまつ地球市民の会
前) 早川東
新) 安田憲一
- ・北海道青年海外協力隊を育てる会
前) 森道夫(札幌医科大学名誉教授)
新) 山ノ内順子(きの和装学苑支部長)

10) 一般社団法人協力隊を育てる会設立 50 周年へ向けた準備

- ・各事業のこれまでの実績を取りまとめ中

以上

【2023 年度事業報告附属明細書について】

2023 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

2024 年度事業計画
2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

2024 年度事業方針

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

【基本方針】

1. 協力隊事業への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に生かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

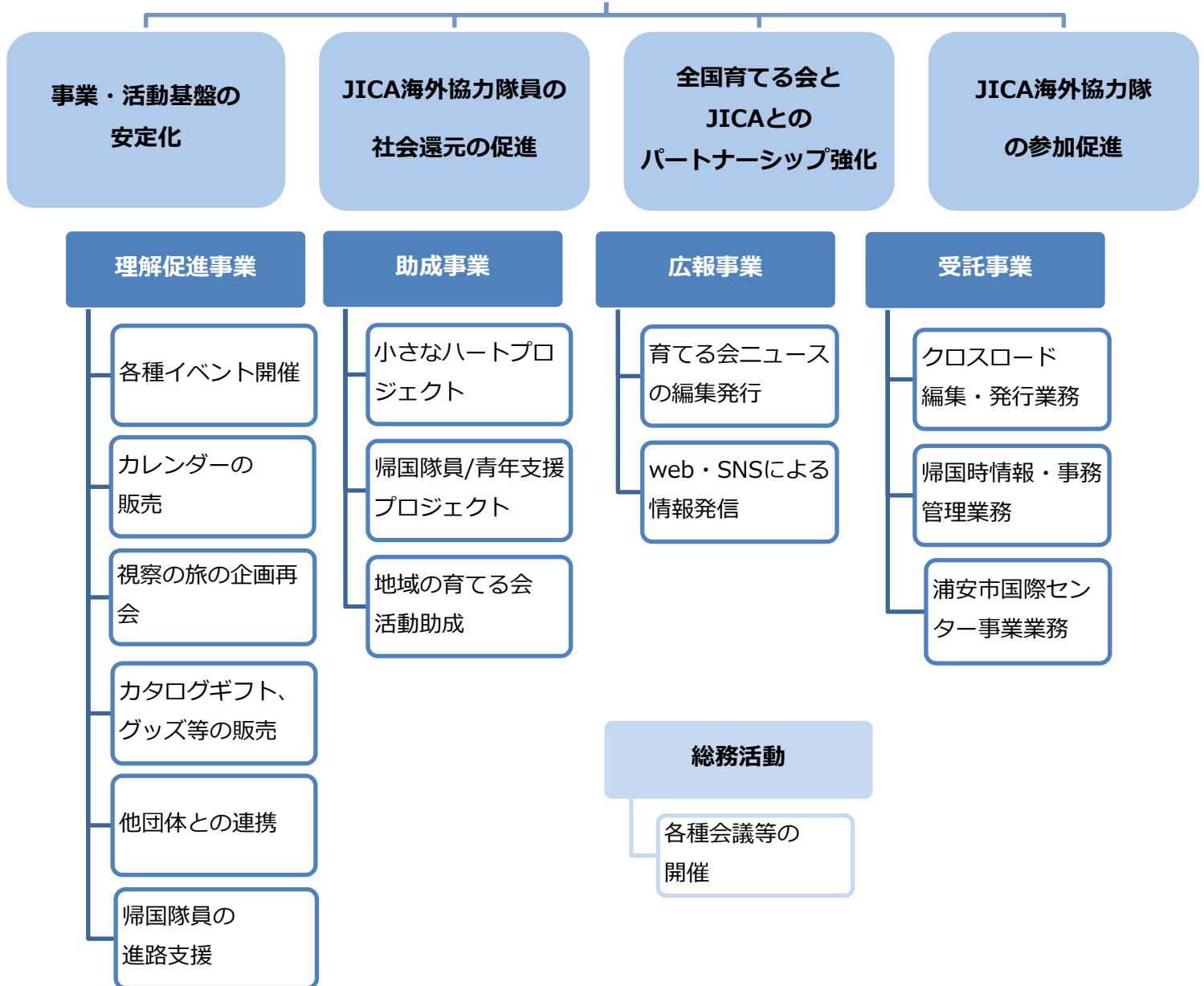
【重点活動】

1. 事業・活動基盤の安定化
2. JICA 海外協力隊員の社会還元の促進
3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化
4. JICA 海外協力隊の参加促進

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点活動



2024 年度事業計画

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

【重点事業】

1. 事業・活動基盤の安定化

1) 安定的な実施体制の構築と業務の質向上

実 施 : 受託業務の確実な受注

概 要 : 「クロスロード編集・発行業務」の継続受注

(現契約は 2024 年 9 月 30 日まで)

2) 「2024－2026 年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務」の実施

実 施 : 通年

概 要 : 新規受託業務の確実な実施体制の構築

(2023 年度からの変更点: 進路開拓相談窓口の一本化、現職教員特別参加制度参加者現況調査、社会還元マップ作成、社会還元表彰式運営補助、関東甲信越圏の相談役設置、寄附相談対応、事業紹介セミナー実施、企業・団体等のネットワーキング促進、「市政」記事作成、JICA 海外協力隊体験プログラムコーディネート等)

3) 全国育てる会活動予算の確保

実 施 : 通年

概 要 : 活動予算の確保検討及び交渉

2. JICA 海外協力隊員の社会還元の促進

1) 全国ネットワークによる協力隊活動ならびに社会還元活動への支援

実 施 : 通年

概 要 : イベント開催等を通じた活動広報

2) イベント等の開催

(1) 第 49 回通常総会・第 2 部講演会の開催

演 題 : 「凧あげが結ぶガザと釜石の絆」

日 時 : 2024 年 5 月 30 日 (木) 16:00～17:30

場 所 : 連合会館

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

3) カタログギフト「Global Sprout」の広報と販売

カタログギフトの積極的な広報と販売促進

ブランド：「Global Sprout（グローバル・スプラウト）」

概要：帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等を掲載したカタログギフトの販売促進を通じて、地域社会の活性化を進めている隊員の活動を支援する。

3. 全国育てる会と JICA 青年海外協力隊事務局とのパートナーシップ強化

1) 全国育てる会の総会等の積極的な参加と情報共有

実施：通年

2) 応募勧奨や社会還元促進、人財バンク機能の推進協力

実施：通年

3) 協力隊活動ならびに社会還元活動の事例収集と広報協力

実施：通年

4) 全国育てる会代表者会議の開催

実施：全国相談役会議の開催と合わせて、年度内の開催を検討する（または、代表者会議は隔年開催とし、ブロック会議の開催についても検討する）

4. JICA 海外協力隊参加の促進

1) カレンダーの制作・販売

概要：帰国隊員提供の写真を使用したオリジナルカレンダー

仕様：A4 横／フルカラー／14 枚綴り（28P）／オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数：7,000～8,000 部 ※予定

制作：5 月～8 月

販売：9 月中旬 ※予定

普及：オリジナルカレンダーを通じて、青少年団体、国際協力への関心層等に対して、積極的な協力隊応募勧奨を行う。

2) 『クロスロード』の積極的な活用

概要：応募勧奨号（2 月 1 日発行号）を積極的に活用し、協力隊参加の機運を高める。

全国育てる会組織、青少年団体等を通じて関心層へ積極的に配布する。

実施：通年

【理解促進事業】

1) 協力隊活動現地視察の旅（視察の旅）の企画再会

コロナ禍のため中断していた視察の旅の企画を再開する。まずはアフリカ地域で受け入れ可能な国を数力国ピックアップし、企画を行う。

企 画 : 2024 年 10～12 月頃（アフリカ地域）

2) 協力隊関連書籍及びグッズの販売

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業への理解を深めるため、下記の書籍、グッズを販売する。

(1) 「グローバル・イノベーター 社会課題解決（又はSDGsの実践者たち）（仮称）」の販売

実 施 : 2024 年 7 月 31 日発行（予定）

対 象 : 隊員参加希望者、隊員家族、帰国隊員の採用に関心をもつ企業・団体・自治体

(2) 協力隊 T シャツ、JOCV バッジの販売

実 施 : 通年

概 要 : 隊員参加希望者、派遣予定者、帰国隊員、隊員家族等

3) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、社会情勢に合わせながら他団体の実施する各種イベント名地に参加し、JICA 海外協力隊事業の広報や帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

(1) 協力隊まつり 2024

主 催 : 協力隊まつり実行委員会

実 施 : 4 月 20 日（土）・21 日（日）

場 所 : JICA 市ヶ谷

(2) グローバルフェスタ 2024

主 催 : グローバルフェスタ実行委員会

実 施 : 9 月末～10 月初旬

場 所 : 未定

(3) アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会

実 施 : 2025 年 2～3 月

場 所 : 足利市民会館

4) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 進路相談の実施

実 施 : 通年

概要：就職や転職、進学等へのアドバイス

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

国内からの一般寄付を基に、協力隊員が本来業務以外に企画実施する草の根プロジェクトを支援する。

支援金額：1件につき上限 US\$3,000

支援件数：未定

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

2) 帰国隊員支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7月1日（月）～8月31日（土）

審査選考：選考委員会にて10月頃実施

3) 全国育てる会活動助成

全国育てる会が実施する協力隊事業の理解促進等の諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：状況に応じて決定

給付時期：状況に応じて決定

対象事業：以下の4事業

- ①会員拡大
- ②協力隊に参加し易く、またその経験を地域に活かす社会環境の整備
- ③広報・理解促進
- ④全国育てる会組織との連携

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約 5,000 部／毎月（赴任中の協力隊員には PDF 配信）

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

- 構成：1面～最新トピックス、有識者による時評
2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介
3面～派遣中隊員、帰国隊員の活動紹介
4面～各種インフォメーション、ご芳名掲載

2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知及び報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

3) メーリングリストによる情報提供

派遣中や帰国後隊員に育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会等講師の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 就職・進学情報の告知
- (5) 各県組織からの情報提供
- (6) 会員団体からの情報提供

4) 協力隊資料の収集と保存（アーカイブ事業）

1965 年の事業創設から半世紀以上を経て、協力隊の貴重な資料が散逸しつつあるため、積極的に当会にて収集、保存し、その価値を広く発信していく。

協力隊設立 60 周年（2025 年）を控え、収集した資料の整理を進める。

【受託事業】

1) 2021-2024 年 JICA 海外協力隊の情報誌「クロスロード」作成業務

協力隊員が現地で活動・生活するうえで参考になり、かつボランティア及び事業関係者間で共有価値のある実践的情報を提供するとともに、帰国後に関する有益な情報提供を通じてボランティアの帰国後の進路開拓を促進し、その経験を社会への還元に結びつけるべく、業務を遂行する。

委託元：独立行政法人国際協力機構

担当課：青年海外協力隊事務局参加促進課

業務内容：JICA 海外協力隊実践ガイド（年 10 号）、OBOG 向け（年 1 号）、応募者向けガイド（年 1 号）の企画、取材、原稿執筆、編集、発行

契約期間：2021年7月1日（木）～2024年9月30日（月）

専従職員：3名

2) 2024-2026年度 JICA 海外協力隊帰国隊員情報事務管理・事業理解促進業務

帰国隊員の進路開拓と帰国後の社会還元を促進させ、企業団体に対し JICA 海外協力隊事業の理解促進を図り、協力隊事業の社会的評価の向上に繋げるべく業務を確実に遂行し、安定的な財政基盤を構築する。

委託元：独立行政法人国際協力機構

担当課：青年海外協力隊事務局人材育成課

業務内容：各種データ管理、事務手続き、進学・就職支援業務、理解促進事業他

契約期間：2024年4月1日～2027年3月31日

専従職員：10名

3) 浦安市国際センター事業

上記センターの指定管理業務を共同企業体と実施する。

委託元：浦安市

共同企業：公益社団法人青年海外協力協会

業務内容：国際センターの運営補佐（多文化共生講座、日本語学習支援教室運営等）

契約期間：2022年4月より4年間

専従職員：1名

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての的確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第49回通常総会

開催日：5月30日（木）13：30～

場 所：連合会館

【プログラム】

第1部 通常総会（13：30～15：30）

第2部 講演会（16：00～17：30）

第3部 交流会（18：00～19：30）

(2) 理事会

年4回の開催（5月、12月、2025年3月）

(3) 常任理事会

適宜開催

(4) 顧問・参与会議

原則として年 1～2 回程度開催

2) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2025 年 1 月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 随時

場 所 : 都内

3) 派遣隊員へのガイダンス

実 施 : 随時

場 所 : オンライン

概 要 : 育てる会活動の説明ならびに個人情報の収集

4) 帰国隊員へのオリエンテーション

時 期 : 年間 2 回程度

場 所 : オンデマンド

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

5) 青年海外協力隊設立 60 周年に向けての広報協力

60 周年記念式典 : 2025 年 10 月下旬～11 月中旬で調整中

6) 一般社団法人協力隊を育てる会設立 50 周年へ向けた準備

50 年の活動記録等のとりまとめ

以上

2024年度収支予算
2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2023予算 (A)	2024予算 (B)	(B)-(A)	備考
事業活動収入				
基本財産運用収入	1,000	1,000	0	定期預金
入会金収入	60,000	70,000	10,000	個人、法人、団体
会費収入	4,000,000	4,000,000	0	個人、法人、団体
研修会費収入	800,000	410,000	△ 390,000	総会交流会、新春の集い
広告料収入	3,560,000	3,000,000	△ 560,000	育てる会ニュース
手数料収入	4,000,000	3,600,000	△ 400,000	各県クロス発送手数料他
カレンダー販売収入	3,800,000	4,000,000	200,000	8千部
帰国隊員等支援受託収入	52,000,000	72,938,000	20,938,000	新規契約
クロス編集業務等受託収入	57,188,000	57,188,000	0	年12冊
その他受託収入	4,712,000	4,708,000	△ 4,000	浦安指定管理
助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
寄付金収入	650,000	950,000	300,000	ハート、一般寄付
グローバルスプラウト	500,000	100,000	△ 400,000	
雑収入	0	0	0	
経常収益合計	134,271,000	153,965,000	19,694,000	
事業活動支出				
給与手当	49,364,000	51,901,000	2,537,000	職員15名
退職掛金	1,080,000	900,000	△ 180,000	正職員3名
福利厚生費	7,381,000	7,485,000	104,000	
旅費交通費	2,630,000	19,220,000	16,590,000	体験プログラム渡航費
通信運搬費	6,014,000	6,014,000	0	クロス発送、ギガポット、Zoom
会議費	200,000	200,000	0	
修繕費	950,000	950,000	0	コピーカウト、PCメンテナンス、ネットワーク保守
印刷製本費	10,866,000	12,631,000	1,765,000	クロス、カレンダー、ニュース
賃借料	5,569,000	5,569,000	0	家賃、OA機器リース、書類保管
光熱水費	510,000	510,000	0	電気、水道
保険料	60,000	60,000	0	火災保険、団体福祉
諸謝金	4,280,000	4,330,000	50,000	クロス、サポーター宣言、イベント講師
消耗品費	300,000	300,000	0	
租税公課	4,700,000	6,525,000	1,825,000	消費税、人材紹介登録、登記
減価償却費	188,000	188,000	0	建物付属施設
仕入高	300,000	300,000	0	新刊本
支払負担金	2,535,000	2,035,000	△ 500,000	社労士、税理士、会費
支払助成金	6,640,000	6,910,000	270,000	三菱、各県助成、ハート
委託費	26,512,000	22,838,000	△ 3,674,000	カウンセラー、ライター
雑費	3,692,000	3,599,000	△ 93,000	総会交流会、新春の集い
予備費	500,000	1,500,000	1,000,000	
経常費用合計	134,271,000	153,965,000	19,694,000	
事業活動収支差額	0	0	0	

